

☆豆知識☆

夏祭りの屋台や昔懐かしい駄菓子屋さんでよく目にするラムネ。

そんなラムネの瓶には小さなガラス玉が入っていて、どうにか取り出せないかと試行錯誤した経験はありませんか？

実はあのガラス玉の名前は「ビー玉」ではなく、「エー玉」と言われるものだそうです！

そもそもラムネ瓶のガラス玉は栓の役割を担うものです。そのため、ガラス玉には歪みがなくしっかり瓶口を塞ぐことが求められていました。しかし、製造の過程ではラムネ瓶のフタとして使うことができない規格外のガラス玉も出てきます。そこでフタとして使用できないガラス玉を「ビー玉（B玉）」、本来の用途であるラムネ瓶の栓となるガラス玉を「エー玉（A玉）」と呼ぶようになりました。

ビー玉は規格外品のため、駄菓子屋さんにやってきた子どもたちに配られていました。そのため、ビー玉がおもちゃとして広まり、見た目はほとんど変わらないラムネ瓶のエー玉もビー玉と呼ばれるようになったと考えられています。

